

# えんちく PTA 連合会 会報

えんちく PTA は塩尻東筑摩の各地区単位 PTA を応援する会報誌です。



写真：洗馬小学校 撮影日：2014. 4. 11

『子どもの豊かな未来づくり』  
～共に学び・語り・育てよう～

地域の方々のご厚意でご贈りいただいた鯉のぼりが、今年も子どもたちの元気な姿を見守ってくれました。地域の方々、子どもたちと一緒に飾りつけと片づけもして下さいました。感謝の鯉のぼりです。



特集・地域連携 丘中学校  
いっしょに学ぶ「地域で学ぶ・地域を学ぶ・地域と学ぶ」  
シリーズ活動紹介  
こんな PTA いかが「塩尻中学校 PTA の活動」

2014 東筑摩塩尻 PTA 連合会定期委員会 / 第 1 回単位 PTA 会長会・専門委員会  
郡 P 会長ごあいさつ / 役員紹介 / E コラ / ガンバレ新役員研修会報告  
三行詩コンクール / 『平成 26 年度郡 P 研修会について』 / お知らせと報告. etc

おいしい給食レポート・わたしたちの学校紹介

東筑摩塩尻 PTA 連合会報 No. 21

<http://enchiku.net/>

# 2014東筑摩塩尻PTA連合会 定期委員会



平成26年5月10日、教育会館にて定期委員会が開催され、平成25年度事業報告と決算、並びに平成26年度の事業計画と予算が承認されました。

## 第1回単位PTA会長会



定期委員会終了後、第1回単位PTA会長会が行われました。常任委員選出校（広丘小、生坂小、洗馬小、宗賀小、丘中、広陵中、塩尻中、両小野中、聖南中、生坂中）の会長より、各単位PTAの活動が紹介されました。学校で短歌に力を入れている広丘小の会長は、今の思いを短歌で紹介され、また生坂小の会長は、イラストフリップを使って活動をアピールされました。それぞれの学校、PTA活動の特色を知ることができたのではないのでしょうか。当日お配りした冊子「わたしたちのPTAを紹介します」には、各PTAの活動内容が紹介されています。お互いの情報交換や、活動の参考になればと思います。ご活用ください。



## 第1回専門委員会

引き続き、第1回専門委員会が開催されました。当日は「教育問題検討委員会」「父親母親委員会」「学校・地域連携委員会」に分かれ、自己紹介や各PTAの紹介、今後の活動内容について意見交換がされました。また事前アンケートにて、各委員会のテーマに関連する各学校、PTAで課題だと感じていることを挙げていただきました。以下に抜粋します。この活動ですべての課題が解決することは出来ないと思いますが、一年を通して意識の共有が出来ればと考えています。

### 教育問題検討委員会



- 授業内容の進行状況は昔に比べ早い  
ため、今の子ども達が授業について  
いるか不安である。
- 個人主義的な指向になっているの  
は？
- 先生の皆さんが自分の考え等を自由  
に学校生活で活かせる環境作りをし  
た方が良いと思う。(マニュアルも良い  
と思うがもう少し、人間らしく教育  
をしてみてもどうか?)

### 父親母親委員会



- 少子化が進む中、子育てに対する悩  
みなど気軽に話せる父兄の方も減っ  
てきている。父親母親の連携で負担  
にならずに、なにかできないか？
- 授業参観などは母親が9割。仕方な  
いが父親が学校に行きにくい要因の  
ひとつでは？

### 学校・地域連携委員会



- 人口の減少もあり、家庭数では年4.  
9%減少している。我々が出来る何  
らかの対策を早急に考える必要があ  
る。
- 学校内への不審者侵入対策(敷地に  
門がない)。通学路の防犯対策、安  
全確保、警察との連携。

※その他多くのご意見をいただいています。詳細はホームページにて公開しています。

# 郡P会長ごあいさつ



今年度、東筑摩塩尻PTA連合会会長を務めます、塩尻吉田小所属の澤木大輔です。PTA会員の皆様におかれましては、お仕事や子育てでお忙しい中、単Pそして郡Pの活動にご協力いただき改めて御礼申し上げます。

えんちく郡Pでは、今年度も3つの柱「語ること、学ぶこと、共有すること」を掲げ活動していきます。昨今、郡市PTA等、上位PTA連合会の意義が問われつつあります。

単年度で大きく変わることは出来ないと思いますが、より充実した情報発信、講演会等を企画運営することで各单位PTAをサポートしていきたいと考えています。子ども達の幸せに繋がる内容は何かを常に考え役員一同頑張ります。ご協力お願いいたします。

東筑摩塩尻PTA連合会 会長 澤木 大輔

## 平成26年度郡P新役員紹介



大和田副会長 (吉田小校長) 洞副会長 (本城小) 澤木会長 (吉田小) 柴副会長 (山形小) 小林副会長 (宗賀小)

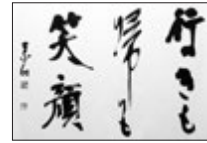


吉田小学校の校内を歩いてみると至る所にお宝が掲げられています。それは開校時に地

### 「行きも帰りも笑顔」

吉田小学校校長 大和田 康子

域の方々から寄せられた学校教育への熱い思いと吉田の子どもを大事にしたいという強い願いに他ならないと感じています。正面玄関に「行きも帰りも笑顔」という額があります。上條素山先生の書です。毎朝、その前で立ち止まり襟を正します。子どもたちの生活がどうなったら「行きも帰りも笑顔」になるだろうと考えます。「今日は学校でこんなことをしたい」「友達や先生と一緒にあんなことをしたい」と期待する生活があったら登校することが楽しいでしょう。「ああ、今日はおもしろかった。明日もこの続きをやりたいなあ」と思えたら(そ



れは勉強でも遊びでも) 帰り道も笑顔になるだろうと思うのです。朝8時から夕方4時まで、子どもたちが生活の大部分を過ごす学校で、私たち大人は何をどうしたら今日を満足し、明日に期待する生活を子どもたちに手渡してやることができるでしょう。子どもたちは本当に勤勉です。エネルギーに満ちて元気なときはもちろん、思い通りの生活にならなくて、うつむいて背中を丸めてでも毎日学校に来てくれます。その子どもたちに、やりがいや居がいのある場所や学習や活動を準備できる学校でありたいと思ひ願う毎日です。

Eコララえんちくコラムは郡P役員の先生方に執筆をお願いしています。



## 昨年度役員のみなさまお疲れさまでした





## 特集 「学校」「地域」の連携活動紹介 いっしょに学ぶ

### 丘中学校

## 地域で学ぶ・地域を学ぶ・地域と学ぶ

#### 【薬草集荷】

本校では、生徒会を中心とした「薬草集荷」が伝統となっています。毎年、夏休み明けに、生徒一人ひとりがオオバコなどの薬草を乾燥させ、学校に持ってきます。しかし、以前と比べ、薬草を採取することが難しくなっています。

そこで、今年度は、特色ある学校づくりの一環として、地域の方の指導のもと、校地内に薬草畑を作り、生徒が種まきから参加しています。薬草を売って得たお金は、生徒会活動に生かします。また、北熊井地区では、地区の方の協力のもと、薬草畑でオオバコを作り、採取しています。

#### 【施設訪問】

学級や学年単位で、地域の老人ホームや社会福祉施設を利用されている方々と交流活動を行っています。

最初はどのように接したらよいかわからなかった生徒たちも、経験を重ねるにつれ、自然に会話をできる姿を見せています。また、本校給食レストランでは、施設利用者を本校にお呼びして、一緒に給食を食べる交流も行っています。

#### 【職場体験・職場見学】

キャリア教育の一環として、2学年では職場体験を、1学年で職場見学を実施し、自分の将来について考える機会としています。体験先・見学先を探すことが難しいときもありますが、できるだけ生徒が暮らす地域から事業所を探すようにしています。それにより、自分の暮らす地域の会社や働いている人々について知ることができます。そして、自分の将来を、より身近なものとして考えることができるようになっています。

#### 【資源物回収】

本校は生徒会を中心に年1回、資源物回収を行っています。本年度からPTA厚生部の活動の一つに位置づけ、学校・生徒会・PTAの三者共催という形で取り組んでいます。収益は生徒会活動など、学校教育に役立てることに使われています。生徒たちは保護者の援助を得ながら、生き生きとした顔で活動するなど、教室では得られない経験を積み場となっています。



塩尻市立 丘中学校  
塩尻市広丘野村1302  
生徒数 565名

## 塩尻市立 塩尻中学校PTAの 活動報告

### 資源物回収



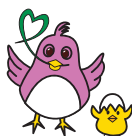
### 校区講演会



生徒と保護者が一緒に講師のお話を聞き、話題を共有できる貴重な講演会です。また、地域の方にもお越しいただいています。

平成24年度は、創造学園高等学校校長 壬生義文氏をお招きし「夢への挑戦〜子供らとともに掴んだ日本一〜」と題して、平成25年度は、片足のスキーヤー 三澤拓氏（ソチパラリンピック出場）をお招きし「できるかできないかではなくやるかやらないか」と題してご講演頂きました。生徒たちの感想からは、勇気と希望を持つことの大切さ、成功の影には挫折とそれを乗り越える努力の必要性がしっかりと伝わっていると感じることが出来ます。

### PTA作品展



毎年「塩嶺祭作品展」には、保護者をはじめご家族の皆様、塩尻中学校の先生方、日頃から交流を深めている塩尻市社会福祉協議会のデイサービスセンター「みどりの郷」様より、素敵な手作りの作品を出展して頂いています。



作られた方の心がこもっている作品たちは目にする、心が温かくなるものばかりです。これらは、学年部が中心となって、前日の持ち込みから展示作業、最終日の搬出まで行います。また、他にも生徒たちが作成したクラブ活動の発表も展示しています。

年々、PTA役員の方に作品のご協力をお願いする中で、作品展継続について話題となっていることも事実ですが、貴重な地域での作品発表の場となっています。

### PTAふれあいバザー

毎年行われているPTAふれあいバザーは、会場の体育館を、ところ狭しと地域の方々からの献品で埋め尽くされています。開始時間の数時間前から並ぶ方がいるほどの人気ある行事です。



しかし、毎年課題に上がる点もいくつかあり、毎年PTA役員で話し合いを重ね試行錯誤で開催しています。早くから大勢の方がお見えになって、商品を選んでいただけでも、値引きの始まる時間まで会計を済ませて頂けない事や、個人の使用目的ではない方のご来場があり、生徒たちの協力を得ながら、スムーズな会計を目指しています。

## ガンバレ新役員研修会『〇〇の悩みをパペットで解決!』

開催日：6月22日(日)  
場所：吉田小学校体育館

安曇野市在住のメンタルトレーナー、加藤史子先生をお招きし、研修会を行いました。あいにくの雨模様でしたが、一般PTA会員の皆様も含め、およそ150名の方々に集まりいただき、一緒にこころの勉強ができました。

### 先生からはこんなことを教わりました・・・

「自分を認め、相手も認める。」このようなこころのポジションでいると毎日元気で人生とても幸せになれますよ。一方、「自分も相手も認められない。」このようなポジションだと寂しいですね。お子さんのこころのポジションは、親御さんの接し方次第で変わります。「あなたはすごいんだよ。お母さんもすごいけどね」という感じで。



簡単な練習法として「プラスのめがね」と「マイナスのめがね」。たとえば「のろま」これはマイナスのめがね。一方、プラスのめがねで見ると「マイペース」「落ち着きがある」「穏やか」「慎重」「丁寧」と言えますね。また「けち」、これをプラスのめがねで見ると「慎重」「節約家」「ものを大切にする」「エコな人」「計画性のある人」と言えますね。お母さんはどちらかと言えば自分の子どもをマイナスのめがねで見がち。これは子どものことを愛しているけど、とてもとても心配だから。ちゃんとした大人になってもらいたいと期待しているから。

でも、マイナスのめがねで注意ばかりされ、認められないと感じてしまうと、お子さんのこころはどんどん沈んでしまいますよね。一生懸命プラスのめがねでお子さんを見てください。お子さんのことを認めてあげてください。大切な存在であることを伝えてください。お子さんのこころは穏やかになり、ポジティブになり、楽しく毎日が送れる様になりますよ・・・と。



つつい子どもを叱ってしまう自分に、気づくことができた研修会でした。なお当日は、吉田小学校PTA役員の皆様に、会場設営等、多大なご協力をいただきました。改めてこの場を借りて御礼申し上げます。

## 私立の達 学校の 紹介します



塩尻市立  
洗馬小学校  
児童数261人(5月1日現在)

校長 高山 雪 PTA会長 塚原友章  
塩尻市大字洗馬2545番地  
<http://www.shiojiri-ngn.ed.jp/seba-e/>

洗馬小学校は、明治22年に洗馬尋常小学校として発足してから、開校125周年を迎える長い歴史ある学校です。



「楽学」 犬飼 毅 書

妙義・小曾部・鉢伏山。そして流れる奈良井・小曾部の二つの川に抱かれた今昔変わらない自然と風土の豊かさの中にあって、たくましさの伝統を受け継いでいます。

上の写真は、犬養毅元首相が洗馬の地で講演された際に揮毫いただいた「楽学」です。今もなお本校の校訓となっています。「楽学」には「学びて以て楽しみに至らざれば学ぶと謂うべからず」の言葉が添えられており、「学ぶこと即ち楽しみ」「楽しみに至る学び」を求めていくことの教えです。



全校レタス栽培 (レタス種まき)



「弁当の日」(自分で作ったお弁当を交換)

学校目標として「かしこく やさしく たくましく」、本年度の重点目標として「自ら学ぶ 明るいあいさつ 進んできたえる」を掲げ、洗馬を愛し誇りに思い、胸を張り、自らの足で希望をもって歩いていこうとする子どもたちを育てていきたいと思えます。

本校は地域とともに学び、生きる学校を目指すことによって、知識や技能を深めていく楽しさ、視野が広がり自己更新がされていく心地よさ、他者の思いや考えを理解しながら強くなっていく嬉しさを感じさせたいと願っています。

そこで、地域の方の力をお借りし、全校レタス栽培や案山子作り等、地域の特性にあった特色ある学校、地域に密着した教育を進めています。

また、各学期一回の「弁当の日」実施によって、自分で作り仲間と味わうことを通して、子ども自らが食の大切さを感じるよう、食育からも生きる力を育みたいと考えております。

# 特集 みんなだいすき 学校給食レポート

Vol. 10

今年の広丘小は新1年生165人（5クラス）を迎え、児童数の多い小学校になりました。教職員も50数人となり、760人分の給食をほぼ毎日作っています。日頃お世話になっている給食の事もっと知りたいという事で、栄養士の元木先生に取材をさせて頂きました。

8:00

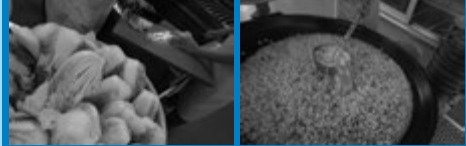
出勤



8:30~9:00「食材の荷受け」

調理員6名が牛乳や食材を受け取ります。牛乳はその日の児童数を調べ23クラス別に分けます。（これだけで30分掛かります）野菜をきれいに洗い調味料を計ります。

9:00~「調理開始」



味付けをした後、全員で味を確認し調理の担当者によって味ムラが無いようにしています。

12:00「調理完了」

どんな献立でも12時には完成させるのが、給食調理の絶対ルールです。そして12:30には児童が取りに来ます。

16:00  
「打ち合わせ」

翌日の調理の打ち合わせをします。

13:15「下膳 食器洗い」

今年から地元の木曾漆器のめり箸を使い、機械でなく手で丁寧に洗います。



調理員の方々のきめ細やかな配慮のお蔭で給食が美味しくいただけていることがよくわかりました。

## わかば給食 レポート

広丘小学校は、校舎が松林に囲まれ校内の敷地が広い特色を生かして、年2回、姉妹学級毎に外で給食を食べています。この松林は、6代校長でもあった歌人島木赤彦が、



散策するのが好きで、当時訪ねてきた友人をよく案内し、今では子どもたちの大切な憩いの場となっています。

今年もその松林や若葉の美しい桜の木の下で、『わかば給食』が行われました。

奨善会（しょうぜんかい：児童会）の給食委員が色々なクイズを考え、姉妹学級の交流が進むように雰囲気盛り上げてくれました。

また、広丘小の全児童は、校内行事には短歌を作り表現力や感性を磨くのが伝統になっています。今年も子どもたちがわかば給食を通して感じた事や思い出を短歌に詠んでくれました。



土の上に落としたゼリーもすぐわすれ  
みんなとしゃべる「わかば給食」（5年男子）

生き物の命をもらって感謝をし  
大事に大事にいただきます（6年女子）

## 給食メニュー

○赤彦汁と水穂汁

広丘小の給食では、短歌の里広丘にゆかりのある歌人島木赤彦先生（6代校長 久保田俊彦）がお好きだったおいしい汁を「赤彦汁」として出しています。

赤彦（あかひこ）汁は、「すいとん」に「しらす」と「かちり」などの小魚が練り込んであり、大根や人参などの根野菜やカボチャをたっぷり入れたみそ味です。団子の中に小魚とは意外な組み合わせですが、子どもたちは喜んで食べるそうです。また、歌人太田水穂先生がお好きだった豚汁は「水穂（みずほ）汁」の名で給食の献立に登場しています。

○おすすめ給食レシピ かみかみサラダ

（材料）ごぼう（薄くななめスライスに切り片栗粉をまぶして油で揚げる）

にんじん（千切り）きゅうり（半月ななめ）

キャベツ（短冊切）玉ねぎ（スライス）

ブロッコリー（小分けして下ゆで）

さきイカ（あのおつまみさきイカです。咬みごたえとろみが増します）

（ドレッシング）白粒ごま（大さじ1） さとう（小さじ1）

薄口しょうゆ（大さじ1） 酢（小さじ2）

ごき油（小さじ2）

ポイント ①ごぼうは、さきがきにして茹でてでも簡単に美味しいです。②学校では、すべての野菜をさつと茹でていきます。

## 「楽しい子育て全国キャンペーン」

～家庭で話そう！我が家のルール・家庭のきずな・命の大切さ～

## 「三行詩募集について」

文部科学省・社団法人日本PTA全国協議会主催の三行詩募集が今年度も行われます。家族の会話や家庭のルール、家庭教育の大切さ、命の大切さをテーマとした「三行詩」を募集します。奮ってご応募ください。

<募集対象> 小学生、中学生、保護者、教職員等

<募集期間> 平成26年7月1日(火)～9月10日(水)

<応募方法> 文部科学省、日本PTA全国協議会のホームページに掲載される「応募用紙」もしくは学校から配布された用紙にて応募してください。

<応募先> お子さんの学校へ提出してください。県Pにおいても選考会を行い、全佐久大会にて表彰します。

### 【平成25年度長野県PTA連合会長賞】

伊那市立美鷲小学校（6年）山田夢大さん 『母ちゃんのスマホの電源入れて見た 兄弟三人 笑ってる』  
他の受賞作品は長野県PTA連合会のホームページに掲載されています。

# 山本文子先生 講演会

## いのち輝いて

### ～ 性といのちを考える ～

## 一般PTA会員参加者大募集！

日時：2014 / 8 / 30 (土) 12:30 ～ 15:30

場所：塩尻市立吉田小学校 体育館



### ◆山本文子先生ご紹介

(助産師、NPO法人いのちの応援舎理事長)

1944年高知県に生まれる。北海道大学医学部附属助産婦学校卒業後、助産師として3000人以上の赤ちゃんを取り上げられてきた。同時に中学・高校生を中心とした性教育の講演を始められ、1998年、講演活動と個人の相談に専念するために「いのちの応援舎※」を設立。「いのちってあったかい」「性を大切にすることはいのちを大切にすること」をテーマとして20数年間、現在も日本各地にて、パワフルかつ心温まる講演でいのちの大切さを伝えられている。

‘03 厚生労働大臣表彰、‘07 第59回保健文化賞、‘08 女性のチャレンジ賞、等多くの受賞歴をお持ちで著書も多数。

※ 2005年NPO法人化し、現在は助産院、おやこ広場、病後児保育、デイサービスを含む日本で唯一の複合施設として活動中。

6月29日、長野市で先生の講演を聞いてきました。助産師として、そして長きに渡る性教育の経験から語られるいのちの大切さは、私の心に強烈に響きました。とんでも無い大物先生のアポを取ってしまったと少々焦っています。先生は、「特に子育て真っ最中のお母さんに聞いてもらいたい」と仰っています。形式的な郡Pの実績確保ではなく、本心から一人でも多くの親御さんに聞いてもらいたいと思いました。  
会長：澤木

- ◆参加申し込み先：各学校PTA役員もしくは先生へ
- ◆申し込み期間：6/30(月) ～ 8/15(金)
- ◆持ち物：筆記用具、上履き、下足用ビニール袋

★参考：研修会全体日程

こちらにご参加ください

役員打合せ	オープニング 吉田太鼓	開会式	準備	山本文子先生 講演会	移動	分科会	閉会式
受付							
12:30	12:50	13:10	13:40	13:50	15:20	15:30	17:00
					17:10		

最新情報は郡Pホームページをご覧ください <http://enchiku.net/>